

公益財団法人ソニー音楽財団
(S o n y M u s i c F o u n d a t i o n)

2021年度 事業報告書
(2021年4月1日～2022年3月31日)

I. 方針

当財団の2021年度事業は、これまでの事業に加え、中期事業計画に基づく新規事業の継続及び拡大・発展に努めながら、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化に適宜対応し、2020年度より発足した「新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」を継続し、一層当財団の社会的評価を高めるよう努めました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「Concert for KIDS～0才からの鼓童～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容・構成で開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、青葉区民文化センター フィリアホール公演を中止いたしました。

【日程及び会場】2021年～2022年

7月31日（土）	[三重]	津市久居アルスプラザ（1日2公演）
11月14日（日）	[新潟]	魚沼市小出郷文化会館（鼓童公演）
12月25日（土）	[東京]	秋川キララホール
2月26日（土）	[千葉]	浦安音楽ホール（1日2公演）

計6公演開催

(2) 「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」の開催

毎年東京とそれ以外の地域で複数回開催している本コンサート・シリーズは1990年よりスタートし、25年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する献血運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ていない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。今年度は東京で1公演開催いたしました。

【日程及び会場】

第65回 東京公演

New Year Concert 2022

2022年1月8日（土） [東京都] サントリーホール

出演：広上淳一（指揮） 上野通明（チェロ） 東京都交響楽団

計1公演開催

（3）That's クラシック！

未就学児以外の全ての世代において、クラシック音楽初心者でも楽しめる、解説及び演出つきのコンサートを、中期事業計画に基づき2019年度より開始いたしました。来場者がよりクラシック音楽を身近に感じ、理解を深めることができるよう、レクチャー的要素を取り入れ、演奏時には、特殊な照明効果や観客の演奏への参加など、これまでのクラシックの常識を打ち破る刺激的な視覚的演出を実施いたします。小規模会場から野外コンサートまで、会場や開催地の特性を活かした多彩なプログラムで構成し、開催いたしました。

【日程及び会場】

2022年1月25日（火） [東京都] 東京国際フォーラムホールC

出演：川瀬賢太郎（指揮） 東京フィルハーモニー交響楽団 ROLAND 他

計1公演開催

（4）Dream Seats / 子ども音楽新聞

Dream Seatsは、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1公演のみ取り扱いました。

また演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させる「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。今年度はオーケストラをテーマに、計1刊を発行しました。

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

(1) 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902－1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現・公益財団法人ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われまふ。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。2021年度より小澤征爾氏が名誉顧問に就任するとともに、以後選考委員長に当財団理事長が就任することとし、受賞者を選定の上、理事会において決定することといたしました。当賞の内容は以下の通りです。

今年度はチェロ部門を笹沼樹が受賞、指揮部門は原田慶太楼が受賞しました。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。

チェリストと指揮者を各々1年度に1人顕彰することを原則とする。

但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、選考委員長が受賞者を選定し、名誉顧問へ報告の上、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年度の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

(選考委員長)

選考委員長は当財団理事長が担うものとする。

(永久選考委員)

永久選考委員は下記の通りとする。

永久選考委員： 堤 剛 氏 (チェリスト)

(任期制選考委員)

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を3名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 名誉顧問の選定

名誉顧問は下記の通りとする。

名誉顧問：小澤征爾 氏 (指揮者)

6. 賞

・ 楯

・ 賞金 当該年度毎に1人500万円 (総額1,000万円)

7. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年度毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

8. 顕彰時期

当該年度毎に適切な時期を定める。

9. 主 催：公益財団法人ソニー音楽財団

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

(2) 「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は、2020年度にチェロ部門を受賞した新倉瞳によるコンサートを、東京・春・音楽祭との共催にて開催しました。

東京・春・音楽祭2022

新倉瞳(チェロ) 齋藤秀雄メモリアル基金賞 受賞記念コンサート

【日程及び会場】

2022年3月28日(月) [東京都] 飛行船シアター

出演：新倉 瞳 (チェロ)、佐藤 芳明 (アコーディオン)、懸田 貴嗣 (バロック・チェロ)

主催：東京・春・音楽祭実行委員会 / 公益財団法人ソニー音楽財団

計1公演開催

公益目的事業3. 子供への音楽を通じた教育活動に対する助成事業

(1) ソニー音楽財団 子ども音楽基金

日本でも7人に1人の子どもが貧困(厚生労働省「2016年国民生活基礎調査」)であることが問題視される中、経済的理由をはじめとした、さまざまな背景により音楽活動がままならない子どもたちへ、2019年にその活動を支援する「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」を中期事業計画に基づき設立いたしました。

原則として18歳未満の子どもに音楽を通じた教育を行う団体の活動を対象に、外部識者による選考委員会による選考を行い、理事会にて決定いたします。

今年度は2022年度分を対象に公募を行い、計15の団体の活動を採択し、総額10,237,000円の支給を決定しました。

(2) 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト

2020年、新型コロナウイルスの影響により子どもたちに向けたクラシック音楽を通じた教育活動を行う団体および若手演奏家を支援するため、支援総額5,000万

円の「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」を急遽立ち上げ、3つの施策を実施いたしました。「『ソニー音楽財団 子ども音楽基金』新型コロナウイルス被害支援」において27団体に対し、1団体につき最大50万円、計810万円の助成金を支給、「子どもたちを対象に活動する若手演奏家への支援金」においては187名に対し計1,870万円の支援金を支給、「子ども向けクラシック音楽配信企画を通じた若手演奏家への支援」においては2,000万円規模の支援を実施しました。今年度もまだ新型コロナウイルスの影響が継続している中、以下の2つの支援策を立ち上げ、2022年度にかけて実施しています。

支援1) 「子ども向けクラシック音楽動画」の募集を通じた若手演奏家支援

支援2) ソニー音楽財団による「子ども向けクラシック音楽動画」の制作・無料公開

(以上)